



北陸地方整備局入札監視委員会事務局
資 料 配 付

配布日時

平成29年6月23日
配布をもって解禁

北陸地方整備局入札監視委員会の総会と第1回定例会議を開催しました
— 委員会構成と審議概要を公表します —

(※1)

(※2)

北陸地方整備局入札監視委員会は平成29年度総会に引き続き、第一部会・第二部会の第1回定例会議を6月6日に北陸地方整備局で開催しました。

はじめに、総会で委員長、委員長代理、第一部会・第二部会所属委員が選任されました。

次に、各部会の第1回定例会議で、部会長と部会長代理が選任されました。

引き続き、発注状況等について報告した後、部会が抽出した事案に関し、競争参加資格の設定や競争入札に係る指名の理由・経緯等について審議を行いました。審議の結果、委員会による意見の具申又は勧告はありませんでした。

※1 入札及び契約の過程、契約内容の透明性を確保するため、平成6年度から設置された学識経験者等で構成される第三者機関です。

※2 第一部会（港湾空港関係事務以外を担当）及び第二部会（港湾空港関係事務を担当）においてそれぞれ四半期毎に開催しています。

同時発表記者クラブ
管内各県記者クラブ

(問い合わせ先)

新潟市中央区美咲町1-1-1(〒950-8801)

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp>

北陸地方整備局入札監視委員会事務局

第一部会 電話025-280-8880(代表)

主任監査官 小柳 俊彦

契約管理官 小幡 義則

技術開発調整官 山岸 達也

第二部会 電話025-370-6650(経理調達課)

契約管理官 高橋 孝広

経理調達課長 山本 陽介

1 部会の構成は、次のとおりです。

平成29年度 北陸地方整備局入札監視委員会 委員名簿

委員長	おお かわ ひで お 大 川 秀 雄	新潟工科大学 学長
委員長代理	すず き たか し 鈴 木 高 志	弁 護 士
第一部会長	おお かわ ひで お 大 川 秀 雄	新潟工科大学 学長
第一部会長代理	つち や たけし 土 屋 武	新潟大学 法学部 准教授
第一部会委員	さ と う あや こ 佐 藤 綾 子	富山国際大学 現代社会学部 准教授
第一部会委員	ひら いし ひろ か 平 石 広 佳	弁 護 士
第一部会委員	ほそやまだ とく ぞう 細山田 得 三	長岡技術科学大学 教授 環境社会基盤工学専攻
第二部会長	すず き たか し 鈴 木 高 志	弁 護 士
第二部会長代理	ねぎ し むつ ひと 根 岸 睦 人	新潟大学 経済学部 准教授
第二部会委員	にし かた たい ち 西 方 太 地	公認会計士

北陸地方整備局入札監視委員会（第一部会第1回定例会議） 審議概要

開催日及び場所	平成29年6月6日（火） 北陸地方整備局（新潟市中央区美咲町1-1-1）					
委員 (部会委員5名)	部会長 大川 秀雄（新潟工科大学 学長） 部会長代理 土屋 武（新潟大学 法学部 准教授） 委員 佐藤 綾子（富山国際大学 現代社会学部 准教授） 委員 平石 広佳（弁護士） 委員 細山田得三（長岡技術科学大学 教授 環境社会基盤工学専攻）					
審議対象期間	平成29年1月1日～平成29年3月31日					
報告事項	1 入札・契約手続の運用状況について (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 平成29・30年度 有資格業者登録状況					
審議事項	抽出事案11件（工事6件、建設コンサルタント業務等3件、役務及び物品2件）					
	契約方式	件名	契約業者名	契約年月日	契約金額（千円）	入札者数
工 事	一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	国道289号1号トンネル他工事	三井住友建設（株）	H29.2.3	1,836,540	9
	一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外）	栗ノ木道路共同横断管その2工事	佐藤鉄工（株）	H29.3.22	57,240	1
		H28・29・30金沢管内道路維持工事	石川建設工業（株）	H29.2.28	241,920	1
		三橋排水樋管外開閉装置等改修工事	（株）新東エンジニア	H29.2.7	42,498	3
		千曲川戸倉管内天端舗装その2工事	中信建設（株）	H29.3.8	35,132	5
		三国川ダム管理用水力発電設備修繕工事	三菱電機プラントエンジニアリング（株）	H29.3.7	194,400	1
建設コンサルタント業務等	簡易公募型競争入札方式	高岡国道維持出張所庁舎改修工事監理業務	（株）アレックス	H29.3.27	2,700	1
	簡易公募型プロポーザル方式	平成28年度上越三和道路事業推進補助業務	（一社）北陸地域づくり協会	H29.1.27	1,847	－
	随意契約方式	新潟地家裁佐渡支部耐震改修設計その2業務	（株）エーシーエ設計	H29.1.12	2,646	－
役務の提供等及び物品の製造等	企画競争方式	平成28年度道路保全事業の執行体制検討に向けた取組の企画業務	（一社）北陸地域づくり協会	H29.1.24	3,996	－
	随意契約方式	平成28年度Pilot-Nxt（給与）システム改良	（株）サンネット	H29.1.31	8,586	－
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
（備考）	次回定例会議を平成29年9月26日（火）に決定					
（問い合わせ先） 新潟市中央区美咲町1-1-1（〒950-8801） 電話025-280-8880（代表） ホームページ http://www.hrr.mlit.go.jp 北陸地方整備局入札監視委員会事務局 主任監査官 小柳 俊彦 契約管理官 小幡 義則（別紙「1 入札・契約手続きの運用状況について」、「2 抽出事案の審議について」の（役務の提供等及び物品の製造等）） 技術開発調整官 山岸 達也（別紙の上記以外）						

意見・質問	回 答
1 入札・契約手続きの運用状況について (1) 入札方式別発注工事一覧及び入札方式別発注建設コンサルタント業務等一覧並びに入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等業務一覧 ・簡易公募型競争入札方式は、どういう場合に総合評価方式にして、どういう場合にしないのか説明してください。 ・一覧表の中で、競争参加資格を確認した者が1者で入札者数が1者という工事が何件かありますが、その主な要因は工事が特殊であるということですか。	・高度な構想力、応用力、知識が求められる業務は、プロポーザル方式にします。構想力、応用力、知識がそれほど必要ない定型的な業務については、価格競争にします。その中間の業務は総合評価落札方式にします。 ・維持管理工事は、細かい作業がいろいろあり、施工場所も多数、点在していて、利益もなかなか上がらないということがあります。交通安全対策工事は、現道上で交通規制をして実施するなど、施工条件が厳しいということがあります。このため、参加者1者入札者1者になったと推察しております。
(2) 指名停止等の運用状況 ・例年に比較して今期は指名停止が多いと思いますが、要因を教えてください。 ・独占禁止法の違反に関する指名停止について、同じ案件で業者間の指名停止期間が違うことについて説明してください。 ・建設業法違反に関する指名停止期間の下限は1ヶ月なのに、6週間になっているものがある。2週間長い理由を説明してください。 ・指名停止案件は全国のもの、地方整備局のものがあるということは、整備局ごとの指名停止があるということですか。	・特に要因といったものはありません。 ・独占禁止法違反に関しては、指名停止期間の基本は2ヶ月ですが、過去10年以内に公正取引委員会から課徴金納付命令を受けたことがある場合や独占禁止法の課徴金減免制度の適用を受けた場合等により、期間に差が生じています。 ・基本は1ヶ月ですが、個々の内容により措置要領等に基づき、加算するなどの運用をしています。 ・重大な法令違反などは全国案件となりますが、措置そのものは各整備局単位で行うことになります。全国案件である独占禁止法の違反案件は、どこかの地整で起こると、他の地整でも資格登録があれば措置することになります。 また、それ以外の工事事故などの案件は各地整単独で措置しています。

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等（第一部会第1回定例会議）

意見・質問	回 答
(3) 談合情報等の対応状況 ・特になし。	
(4) 再度入札における一位不動状況 ・一位不動の率が高いということはどういうことでしょうか。	・計算上高くなっていますが、実質の件数は、ごくわずかであり、特に問題はないと考えます。
(5) 工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況（平成25年度～28年度） ・入札者全部が低入札となって、契約が成立しないことはないのですか。 ・低入札価格の調査基準価格が4月から見直されたということですが、変更点を説明ください。	・最低制限価格制度とは異なり、低入札価格調査制度では、低入札があった場合は必要な調査をして、施工可能と判断できれば契約となります。 ・直接工事費が0.95から0.97になったということです。直接工事費の内訳は材料費、労務費、機械経費があるのですが、そのなかで、労務費については1.00を計上することになりました。
(6) 平成29・30年度有資格業者登録状況 ・特になし。	

意見・質問	回答
2 抽出事案の審議について （工 事） 1 一般競争入札方式 （政府調達に関する協定適用対象工事） 「国道289号1号トンネル他工事」 ・工事金額が大きい、落札決定は評価値のみで判断したのか、それ以外の費用対効果の分析等もして評価した上で決めたのか。 ・入札調書における1者の無効の括弧書きに「技術者を配置できなかった」とありますが、具体的に説明してください。	・評価値は、技術評価点を入札価格で割って算出します。工事金額の規模にかかわらず、それ以外の要素を評価値に付与することはありません。 ・配置予定の技術者が本件以外にも応募していて、そちらを先に落札したので、当該工事に配置できなくなり、辞退をして無効になったというものです。
2 一般競争入札方式 （政府調達に関する協定適用対象工事以外） 「栗ノ木道路共同横断管その2工事」 ・競争参加資格確認者が2者で実際の入札者数が1者ですが、少なかった理由を説明してください。 ・1者が不参加になった経緯を教えてください。	・競争参加資格の地域要件を設定しないことで、参加要件を緩和しています。詳しく分析したものではありませんが、全国の鋼構造物工事の受注状況等によることと、今回の工事の工種は鋼橋上部工事というカテゴリになっていますが、通常の鋼橋上部工事とは異なり、階段設置工事という少し特殊な工事内容ということで、実績がない者が敬遠されたということもあるのではないかと推測をしております。 ・1者が不参加になった理由も上記と同じと考えています。

意見・質問	回答
「H28・29・30金沢管内道路維持工事」 ・入札者数が1者ですが、特殊な工事が多いのですか。入札者がゼロとなるケースも多いのですか。 ・入札者数を増やすため何か対策等考えていることがありますか。	・この工事は、道路維持工事の典型的なものと考えております。工事の内容は、日々、対象となる100km弱の道路で何か問題があれば、すぐに出動して補修するなど、速やかに対処するというものです。当該工事を担当したことがある技術者とか作業員がいると、作業を効率的に行うことができます。経験のない者が入りにくい工事、入ってきても収益が出にくい工事であると考えています。金沢河川国道事務所内では、加賀地区、能登地区を含めて4件の道路維持工事がありますが、金沢地区については特に交通量が多いとか、苦情等の件数も非常に多いといった特徴もあって、未経験者が入りにくい環境になっていると思っています。 ・計画的に実施できる水路や防護柵といった付属物の補修工事の要素を増やすことにより全体の工事の規模を大きくして、工事全体としての収益が出やすいようにするという工夫を順次、行っておりまして、例えば、今回の金沢の道路維持工事につきましては、従来2年間で1億6千万円の予定価格を2億4千万円強に増やしています。また、競争参加資格の要件を緩和するという対応をしていますし、要件を決める前には、事前にその要件を満たす者が何者くらいいるかということ把握した上で、入札公告をしています。
「三橋排水樋管外開閉装置等改修工事」 ・特になし	
「千曲川戸倉管内天端舗装その2工事」 ・特になし	
「三国川ダム管理用水力発電設備修繕工事」 ・ほとんど修理みたいな工事は、国の会計法に則った上で、作ったところがやるか、業者指定したほうが、安全に効率的にできる気がするのですが、どういう考え方で一般競争方式にしたのですか。	・既設の設備を製作したメーカーや製作メーカーに関連する会社以外の者でも施工できると判断して、随意契約方式ではなく、一般競争方式を採用しました。

意見・質問	回答
（建設コンサルタント業務等） 1 簡易公募型競争入札方式 「高岡国道維持出張所庁舎改修工事監理業務」 ・ 予定価格が 7,990 千円、落札価格が 2,500 千円、落札率は 31.3%ということですが、簡易公募型競争入札の場合には、低入札の考え方はないのですか。 ・ 予定価格に比べて、落札価格が大幅に低かった理由が分かるようでしたら教えてください。 ・ この業務の積算には、歩掛かり等はあるのですか。それは、金額の大小に関係なくあるのですか。	・ 低入札価格調査制度は、予定価格が 10,000 千円を越える契約が対象です。この業務の予定価格は、7,990 千円ですので、対象になりません。 ・ 低入札調査の対象でなく、資料が提出されていないので、あくまで推察ですが、この業務の実施体制は、管理技術者の下に担当者が 7 人いて、主な業務を行う 5 人の担当者が 6 5 歳を越えています。おそらく、年金をもらっている方が業務をされているので、この金額で履行可能だったのではないかと推察しているところです。 ・ 標準歩掛かりがありますので、それで積算しています。
2 簡易公募型プロポーザル方式 「平成 2 8 年度上越三和道路事業推進補助業務」 ・ 特になし	
3 随意契約方式 「新潟地家裁佐渡支部耐震改修設計その 2 業務」 ・ 特になし	
（役務の提供等及び物品の製造等） 1 企画競争方式 「平成 2 8 年度道路保全事業の執行体制検討に向けた取組の企画業務」 ・ 特になし	
2 随意契約方式 「平成 2 8 年度 Pilot-Nxt（給与）システム改良」 ・ 給与の計算システムは、全国同じプログラムを使っているのでしょうか。	・ 全国の北海道開発局と 8 地方整備局で導入しているシステムです。北陸地方整備局は、平成 1 5 年度からこのシステムを導入しています。今回は、北陸地方整備局が全地整を代表してシステムの改良業務を契約しました。

北陸地方整備局入札監視委員会（第二部会第1回定例会議） 審議概要

開催日及び場所		平成29年6月6日（火） 「北陸地方整備局」（新潟市中央区美咲町1-1-1）	
委 員		部 会 長 鈴木 高志 （弁護士） 出席 部会長代理 根岸 睦人 （新潟大学准教授） 出席 委 員 西方 太地 （公認会計士） 出席 部会委員現在数3名 出席3名	
審議対象期間		平成29年1月1日～平成29年3月31日	
抽出案件		総件数 6件	（備 考）
建設 工事	一般競争入札方式 （WTO対象）	1件 新潟空港滑走路地盤改良工事	
	一般競争入札方式 （WTO対象外）	2件 輪島港（輪島崎地区）防波堤（第6）消波 工事（その2） 敦賀港（鞠山北地区）防波堤改良工事	
建設 トコン 業務サ ルタン	簡易公募型 競争入札方式	1件 伏木富山港（新湊地区）深浅測量	
	簡易公募型 競争入札方式 （総合評価落札方式）	1件 新潟港海岸（西海岸地区）潜水及び確認探 査	
役 務品 及び	随意契約方式	1件 土地購入	
委員からの意見・質問、 それらに対する回答等		意見・質問	回 答
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容		な し	

意見・質問	回 答
【入札・契約手続の運用状況等】 〔入札方式別発注工事等一覧〕 ・特になし 〔指名停止等の運用状況一覧表〕 ・特になし 〔再度入札における一位不動状況〕 ・特になし 〔低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況〕 ・特になし 〔談合情報等の状況〕 ・特になし 【抽出案件】 1 建設工事：空港等土木工事 一般競争入札方式（WTO対象） 「新潟空港滑走路地盤改良工事」 ・今回、入札に参加した者が1者になった理由は何か。 ・シミュレーションでの対象者がいることは分かるが、結果1者となっている。シミュレーションに意味はあるのか。 ・工事実績をベースにシミュレーションを行っているが、他の要素で行うことはあるか。 ・落札率が、93%となった要因は何か。 ・下請率を掲載している目的は何か。	・事前のシミュレーションでは、参加要件を満たす者が、代表者で24者、代表者以外で34者を確認でき、競争性は確保できると判断した。 開札後、入札資料をダウンロードした者に聞き取りしたところ、技術者の確保が出来ない等の理由により、入札への参加を見送っていた。 ・地盤改良の工事においては、過去の参加者数を考慮して、施工実績の見直しやCPG工法の外に他の工法の実績も要件に加えて参加者が増えるようにしている。27年度には参加申請者が3者となった。 ・確実な施工を確保するため、工事実績を要件としている。 ・今回の工事は、過去と同じ工事内容で積算基準も公表しており、入札者の判断によるものである。 ・下請率は、一括下請けのチェック用として掲載している。

意見・質問	回 答
2 建設工事：港湾土木工事 一般競争入札方式（WTO対象外） 「輪島港（輪島崎地区）防波堤（第6）消波工事（その2）」 ・今回の工事は、落札価格が調査基準価格に近似しているが、精度高く工事費を見積もることは可能なのか。 ・入札結果で低いものと高い入札額があるが、どの様に考えるのか。 ・今回、B等級にC等級を加えることで、どの様な業者が対象に加わったか。	・工事は、ブロック製作を行うもので、公表されている労務単価、資材単価や参考資料を用いることで、ほぼ発注者が考えている額の推測が可能である。 ・受注意欲の差により、高い方は利潤を確保した結果ではないか。 ・工事はB等級の発注であるが、難易度が低い案件は、下位等級の者を加えることが認められており、当該案件規模の契約に参加出来ない者が参加できることとなる。
3 建設工事：港湾土木工事 一般競争入札方式（WTO対象外） 「敦賀港（鞠山北地区）防波堤改良工事」 ・落札者は、入札額が他と比べて高かったが、加算点が高かったことで落札したが、自己に付与される加算点が分かっているか。 ・入札参加者のランクは、どの様になっているのか。 ・Bランクは、加算点が付与されやすい傾向があるか。 ・加算点は、企業の技術力の評価により変わるのか。 ・参加者は、Bを加えると何者あったか。 ・競争性確保のため、標準型以外の入札方式の検討をおこなったか。 ・実績の無い者が、受注できるような方策を行っているか。 ・チャレンジ型での発注により、応札の状況は変わったか。	・入札参加者は、入札説明書に記載する評価項目をもとに自社の加算点の算出が可能となっている。 ・Bが1者、Cが2者となっている。 ・ランクによって、加算点が付与されやすいということはない。 ・本件は総合評価方式の標準型なので、過去受注した工事成績点や優良表彰などの項目で評価している。 ・Cのみでは7者であったが、Bを加えると22者となった。工事では、競争性の確保を図るため、参加可能者が20者程度となるように等級と要件を設定している。 ・工事の発注では、標準型又はチャレンジ型の入札方式を検討することとしており、今回は工事内容等を勘案し標準型を採用した。 ・過去の参加状況を踏まえて、チャレンジ型を採用している。 ・工事毎により工事内容が異なるが、チャレンジ型による入札においても、入札者が極端に増えることは無い。

意見・質問	回 答
4 建設コンサルタント業務等：調査・測量 簡易公募型競争入札方式 「伏木富山港（新湊地区）深浅測量」 ・第三者照査は、どの程度まで行うのか。 ・発注者は、照査時に立ち会いするのか。 ・第三者の照査者は、業務内容に不備があった場合、瑕疵担保の対象となるか。 ・今回の契約で、例えば入札額が調査基準価格の半分になっても、同じ手続きを行うのか。 ・第三者照査となった場合、発注者は業務の成果物に特殊なチェックを行うのか。	・第三者照査は、受注者より業務計画書が提出され、発注者の求める内容になっているかチェックを行う。 ・立ち会わない。 ・第三者照査は、発注者との契約で行うものではないため、照査における瑕疵で損害があった場合は受注者が責任を負う。 ・価格競争方式の場合は、同じ手続きとなる。 ・検査は、第三者照査の事案においても、通常のチェックを行っている。
5 建設コンサルタント業務等：調査・測量 簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式） 「新潟港海岸（西海岸地区）潜水及び確認探査」 ・質疑なし。	
6 役務及び物品：物品の販売 随意契約方式 「土地購入」 ・新潟市に支払っていた1年間の賃借料はいくらか。 ・平成6年より前は、市との間に借地料の負担関係はなかったのか。 ・借地権割合の控除は、あくまでも土地の上に建物が建っている場合の控除であって、無い場合であっても控除出来るのか。	・賃借料は、大体30万円ほどである。 ・当時は、現状の境界が自分の土地と理解していたので負担はなかった。 ・土地には、購入前から工作物を設置しており、新潟市からも借地権割合の適用が可能との回答を受け、借地権割合を控除して評価した。

審 議 案 件 詳 細

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
一般競争入札方式 (WTO)	新潟空港滑走路地盤改良工事	空港等土木工事	1	1	H29.3.3	本間・みらい・りん かい日産特定建設 工事共同企業体	1,387,800	93.63%
一般競争入札方式 (WTO以外)	輪島港(輪島崎地区)防波堤(第 6)消波工事(その2)	港湾土木工事	4	² 外1者無効、 1者辞退	H29.3.23	(株)宮地組	85,428	89.26%
一般競争入札方式 (WTO以外)	敦賀港(鞠山北地区)防波堤改良 工事	港湾土木工事	3	3	H29.3.27	(株)半澤組	41,148	90.30%

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業種区分	手続への参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
簡易公募型 競争入札方式	伏木富山港(新湊地区)深淺測量	測量・調査	5	5	H29.2.16	(株)北日本ジオグ ラフィ	2,182	75.28%
簡易公募型 競争入札方式 (総合評価落札方式)	新潟港海岸(西海岸地区)潜水及 び確認調査	測量・調査	3	3	H29.3.24	大和探査技術(株)	7,147	80.56%

【物品・役務等】

入札方式	業 務 名	業務分類	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
随意契約方式	土地購入	物品の販売	H29.1.18	新潟市	2,037	90.13%